



## 2025年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年5月9日

上場会社名 金下建設株式会社 上場取引所 東  
コード番号 1897 URL <https://www.kaneshita.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金下 昌司  
問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 佐藤 伸弥 TEL 0772-46-3151  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：無  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2025年12月期第1四半期の連結業績（2025年1月1日～2025年3月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第1四半期	2,299	△38.9	182	△53.2	186	△52.6	117	△51.6
2024年12月期第1四半期	3,763	53.0	389	121.5	392	112.2	242	136.7

(注) 包括利益 2025年12月期第1四半期 85百万円 (△87.9%) 2024年12月期第1四半期 700百万円 (178.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第1四半期	55.08	—
2024年12月期第1四半期	112.12	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第1四半期	22,300	18,652	82.0
2024年12月期	21,844	18,819	84.5

(参考) 自己資本 2025年12月期第1四半期 18,275百万円 2024年12月期 18,462百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	—	—	50.00	50.00
2025年12月期	—	—	—	—	—
2025年12月期（予想）	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	12.9	110	△59.7	290	△39.4	180	△43.9	84.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年12月期1Q	3,806,660株	2024年12月期	3,806,660株
2025年12月期1Q	1,701,439株	2024年12月期	1,651,239株
2025年12月期1Q	2,121,954株	2024年12月期1Q	2,155,714株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(会計方針の変更に関する注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	9
3. 補足情報 .....	10
四半期個別受注の状況 .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢が改善する中、個人消費が持ち直す等、景気は緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、不安定な国際情勢に加え、物価の上昇が継続的に懸念される等、景気の先行きは、依然として不透明な状況となりました。

建設業界におきましては、公共投資は底堅く推移しましたが、民間設備投資に力強さは無く、また、建設資材価格の高止まりや、慢性的な建設技術者・労働者不足の問題が深刻化しており、引き続き厳しい状況となりました。

このような状況の中、当第1四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、受注高の減少等により、22億9千9百万円（前年同四半期比38.9%減）となりました。

利益面につきましては、売上高が減少したことにより、営業利益は1億8千2百万円（前年同四半期比53.2%減）、経常利益は1億8千6百万円（前年同四半期比52.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億1千7百万円（前年同四半期比51.6%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。（セグメントごとの経営成績については、セグメント間の内部売上高又は振替高を含めて記載しております。）

#### （建設事業）

受注高は、19億2千2百万円（前年同四半期比43.3%減）となりました。売上高は、22億1千2百万円（前年同四半期比40.0%減）となり、セグメント利益は、売上高が減少したことにより3億1千2百万円（前年同四半期比37.7%減）となりました。

#### （製造・販売事業等）

主にアスファルト合材の販売、飲食事業（回転寿司店の運営）等で、売上高は、1億7千7百万円（前年同四半期比7.5%増）となりましたが、セグメント利益は、3百万円（前年同四半期比82.8%減）となりました。

### (2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末より4億5千5百万円増加し223億円となりました。増加した主な要因は、工事代金の受入等により現金預金が増加したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末より6億2千2百万円増加し36億4千8百万円となりました。増加した主な要因は、大型工事の前受金による未成工事受入金の増加等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末より1億6千7百万円減少し186億5千2百万円となりました。減少した主な要因は、自己株式の取得等によるものであります。

この結果、自己資本比率は82.0%（前連結会計年度末は84.5%）となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期の連結業績予想につきましては、2025年2月7日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	8,831	10,208
受取手形・完成工事未収入金等	2,506	2,180
有価証券	302	300
未成工事支出金等	348	154
その他	93	73
貸倒引当金	△1	△2
流動資産合計	12,078	12,914
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,218	1,218
その他(純額)	593	596
有形固定資産合計	1,811	1,814
無形固定資産		
	6	6
投資その他の資産		
投資有価証券	7,542	7,166
その他	630	622
貸倒引当金	△222	△222
投資その他の資産合計	7,949	7,566
固定資産合計	9,766	9,386
資産合計	21,844	22,300

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
工事未払金	693	629
リース債務	2	2
未払法人税等	80	72
未成工事受入金	337	1,035
完成工事補償引当金	24	12
賞与引当金	—	41
その他	302	288
流動負債合計	1,438	2,080
固定負債		
リース債務	6	5
繰延税金負債	1,075	1,052
役員退職慰労引当金	491	495
その他	16	16
固定負債合計	1,588	1,568
負債合計	3,025	3,648
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	2,147	2,147
利益剰余金	17,526	17,535
自己株式	△4,900	△5,044
株主資本合計	15,773	15,639
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,688	2,636
その他の包括利益累計額合計	2,688	2,636
非支配株主持分	357	377
純資産合計	18,819	18,652
負債純資産合計	21,844	22,300

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
売上高	3,763	2,299
売上原価	3,143	1,887
売上総利益	620	412
販売費及び一般管理費	230	230
営業利益	389	182
営業外収益		
受取利息	5	7
受取配当金	1	0
不動産賃貸料	11	11
その他	2	2
営業外収益合計	19	20
営業外費用		
持分法による投資損失	11	11
不動産賃貸原価	4	5
その他	1	1
営業外費用合計	16	17
経常利益	392	186
税金等調整前四半期純利益	392	186
法人税等	137	49
四半期純利益	255	137
非支配株主に帰属する四半期純利益	14	20
親会社株主に帰属する四半期純利益	242	117

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
四半期純利益	255	137
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	444	△52
その他の包括利益合計	444	△52
四半期包括利益	700	85
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	686	65
非支配株主に係る四半期包括利益	14	20

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 2022年10月28日)及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	建設事業	製造・販売 事業等	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,688	74	3,763	—	3,763
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	90	90	△90	—
計	3,688	165	3,853	△90	3,763
セグメント利益	500	19	519	△130	389

(注) 1. セグメント利益の調整額△130百万円には、セグメント間取引消去△10百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△120百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	建設事業	製造・販売 事業等	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,212	88	2,299	—	2,299
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	89	89	△89	—
計	2,212	177	2,389	△89	2,299
セグメント利益	312	3	315	△133	182

(注) 1. セグメント利益の調整額△133百万円には、セグメント間取引消去△0百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△133百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年2月12日開催の取締役会決議に基づき、2025年2月13日付で東京証券取引所の自己株式立会外買付取引 (ToSTNeT-3) により、自己株式50,200株を取得しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が144百万円増加し、自己株式は5,044百万円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費 (無形固定資産に係る償却費を含む。) は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
減価償却費	17百万円	18百万円

3. 補足情報

四半期個別受注の状況

個別受注実績

(百万円未満四捨五入)

	受注高	
	2025年12月期第1四半期	1,743百万円
2024年12月期第1四半期	3,245百万円	2.5%

(注) ①受注高は、当該四半期までの累計額  
 ②パーセント表示は、対前年同四半期増減率

(参考) 受注実績内訳

(単位：百万円)

区分		2024年12月期 第1四半期		2025年12月期 第1四半期		比較増減	増減率	
建設 事業	土木	官公庁	2,004	(61.8%)	1,090	(62.5%)	△914	△45.6%
		民間	515	(15.9%)	75	(4.3%)	△440	△85.4%
		計	2,519	(77.6%)	1,165	(66.9%)	△1,354	△53.8%
	建築	官公庁	5	(0.2%)	1	(0.1%)	△4	△79.4%
		民間	720	(22.2%)	577	(33.1%)	△144	△20.0%
		計	726	(22.4%)	578	(33.1%)	△148	△20.4%
	合計	官公庁	2,010	(61.9%)	1,091	(62.6%)	△918	△45.7%
		民間	1,235	(38.1%)	652	(37.4%)	△584	△47.3%
		計	3,245	(100.0%)	1,743	(100.0%)	△1,502	△46.3%

(注) ( ) 内のパーセント表示は、構成比率